プログラム　9月16日（土）

▶A 会場（1F　劇場）　ハイブリッド開催

9:30〜9:40　会長挨拶

高橋 健造
琉球大

9:50〜11:50　シンポジウム 1

座長：石井 則久（国立療養所多磨全生園名誉園長）
山口 さやか（琉球大）

SY1　琉球諸島の皮膚病と、南の島での皮膚科医仕事
高橋 健造[1]、宮城 拓也[1]、深井 恭子[1]、粟澤 遼子[2,3]、大平 葵[1]、山口 さやか[1]、大嶺 卓也[1]、安村 涼[4]
[1]琉球大、[2]ちばなクリニック、[3]中頭病院、[4]豊見城中央病院

12:00〜12:50　ランチョンセミナー 1 「新時代を迎えたアトピー性皮膚炎治療」

座長：秋山 真志（名古屋大）
佐藤 伸一（東京大）

LS1-1　思春期アトピー性皮膚炎患者さんとご家族の生活を彩るために
谷崎 英昭
関西医大

LS1-2　アトピー性皮膚炎の治療ゴール達成を目指した治療戦略
加藤 則人
京都府立医大

共催：アッヴィ合同会社

13:00〜15:00　シンポジウム 2 「ここまできた！実現間近の再生医療」

座長：天谷 雅行（慶應義塾大）
高橋 健造（琉球大）

SY2-1　ゼロからはじめた再生医療研究―初心者に何が必要だったか―
清水 雄介
琉球大形成外科

SY2-2　皮膚の再生誘導医薬開発
玉井 克人
大阪大再生誘導医学

SY2-3　網膜再生医療の進展
髙橋 政代[1,2]
[1]神戸市立神戸アイセンター病院、[2]株式会社ビジョンケア

SY2-4　iPS 細胞を用いたパーキンソン病治療
髙橋 淳
京都大iPS細胞研究所臨床応用研究部門

15:10～16:10　特別講演 1

座長：椛島 健治(京都大)
高橋 健造(琉球大)

SL1　人類の本質と文明の行方
山極 壽一
総合地球環境学研究所・所長

16:20～17:20　文化講演

座長：安部 正敏(札幌皮膚科クリニック　北海道札幌市)
高橋 健造(琉球大)

文化　京から辺境へ、那覇から周辺へと広まる日本語の旅路
松本 修[1]、小竹 哲[2]
[1]朝日放送『探偵ナイトスクープ』企画プロデューサー、[2]文芸評論家

17:20～17:30　記念写真撮影

17:40～18:30　イブニングセミナー 1 「乾癬治療に新しい道すじを」

座長：今福 信一(福岡大)
島田 眞路(山梨大特別顧問)

ES1-1　乾癬治療におけるデュークラバシチニブの臨床的意義について考える
嘉多山 絵理
久留米大

ES1-2　JAK と TYK の違いから考える乾癬内服治療～日本人データから見えてくるもの～
馬屋原 孝恒
岡山赤十字病院

共催：ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

▶B 会場（1F　会議場 A1）　ハイブリッド開催

9:50～11:50　スポンサードシンポジウム 1 「AD 新書～病態から導く新規治療のポイントと患者コミュニケーション～」

座長：宮地 良樹(京都大名誉教授/静岡社会健康医学大学院大学長)
片岡 葉子(大阪はびきの医療センター)

SSY1-1　アトピー性皮膚炎における表皮細胞由来の TSLP、IL-25、IL-33 の役割
辻 学
九州大

SSY1-2　アトピー性皮膚炎：タイプ２炎症の本態はなにか
本田 哲也
浜松医大

SSY1-3　新時代を迎えたアトピー性皮膚炎治療～Type2 サイトカインを中心に～
中原 剛士
九州大

SSY1-4　長期寛解維持へ誘う患者コミュニケーション
～かくれ炎症を患者さんに理解してもらうには？～
田中 暁生
広島大

共催：サノフィ株式会社

12:00～12:50　ランチョンセミナー２「これからのアトピー性皮膚炎診断を考える ～IL-13 を標的とした新しい治療概念から～」

座長：神人 正寿（和歌山県立医大）
室 慶直（名古屋大）

LS2-1　新たなアトピー性皮膚炎の治療戦略～長期寛解を見据えて～
天野 博雄
岩手医大

LS2-2　IL-13 を標的とした新たなアトピー性皮膚炎の全身治療
小寺 雅也
JCHO中京病院

共催：レオ ファーマ株式会社

13:00～14:30　シンポジウム３「達人に聞く！膠原病の実臨床のコツ（上級編）」

オーガナイザー・座長：宮城 拓也（琉球大）

SY3-1　全身性強皮症：25 年間の現場至上主義で学んだ Tips
浅野 善英
東北大

SY3-2　皮膚筋炎治療の難題についてすこし語り合いましょう
室 慶直
名古屋大

SY3-3　血管炎診療の難しさを考える
小寺 雅也
JCHO中京病院

14:40～15:40　スポンサードシンポジウム２

座長：宮城 拓也(琉球大)

SSY2　SLE における治療目標と I 型インターフェロン標的治療
勝又 康弘
東京女子医大膠原病リウマチ内科

共催：アストラゼネカ株式会社

15:50～17:20　スポンサードシンポジウム３ 「悪性リンパ腫」

座長：米倉 健太郎(今村総合病院)
宮城 拓也(琉球大)

SSY3-1　アジアの皮膚リンパ腫：欧米とはここが違う
岩月 啓氏[1,2]
[1]岡山大名誉教授、[2]福島労災病院

SSY3-2　ATL の多彩な臨床像と治療の最新情報
米倉 健太郎
今村総合病院

SSY3-3　皮膚から見たリンパ腫新分類の方向性
加留部 謙之輔
名古屋大医学系研究科臓器病態診断学

共催：協和キリン株式会社

17:40～18:30　イブニングセミナー２ 「乾癬と掌蹠膿疱症に対する IL-23 阻害薬への期待」

座長：今村 貞夫(京都大名誉教授)
小林 里実(聖母病院)

ES2-1　乾癬の病態理解～IL-23 の阻害意義を再考する～
柴田 彩
東京大

ES2-2　乾癬で皮疹消失を目指すべき理由を考える
西田 絵美
岡崎市民病院

共催：アッヴィ合同会社

▶C 会場（2F　会議場 B1） ハイブリッド開催

12:00～12:50　ランチョンセミナー３ 「アトピー性皮膚炎における効果的な外用療法のために」

座長：大日 輝記(香川大)
波多野 豊(大分大)

LS3-1　アトピー性皮膚炎の外用療法を極める～患者指導のコツ～
野村 有子
野村皮膚科医院　神奈川県横浜市

LS3-2　アトピー性皮膚炎治療における外用療法について考える
井川 健
獨協医大

共催：大塚製薬株式会社

13:00～14:30　スポンサードシンポジウム４ 「IL-17A/F 阻害の意義とこれからの乾癬治療ゴール」

座長：阿部 理一郎(新潟大)
浅田 秀夫(奈良県立医大)

SSY4-1　IL-17 ファミリーと皮膚炎～モデルマウスからの知見～
中江 進
広島大統合生命科学研究科

SSY4-2　ビメキズマブが与える乾癬治療へのでーじインパクト
～IL-17F が入ることの全身炎症への意義は、ナイーブ症例の治療戦略も含め～
山﨑 文和
東海大

SSY4-3　適切な治療を適切な患者さんに適切なタイミングで治療するには
森田 明理
名古屋市立大

共催：ユーシービージャパン株式会社

15:10～16:00　スイーツセミナー１ 「アダリムマブの 15 年の軌跡と今後の展望」

座長：乃村 俊史(筑波大)
多田 弥生(帝京大)

SS1-1　化膿性汗腺炎について
角田 加奈子
岩手医大

SS1-2　乾癬について
梅澤 慶紀
東京慈恵会医大

共催：アッヴィ合同会社

16:10～17:10　スポンサードシンポジウム５

座長：柳 輝希(北海道大)

SSY5　どう選ぶ？ 本邦における BRAF 遺伝子変異陽性メラノーマの治療選択
藤澤 康弘
愛媛大

共催：ノバルティス ファーマ株式会社

17:40〜18:30　イブニングセミナー３「尋常性乾癬治療におけるドボベット®フォームの位置付け」

座長：濱口 儒人（金沢大）
藤本 学（大阪大）

ES3-1　私が考えるドボベット®剤形の使い分け
柳瀬 哲至
紙屋町やなせ皮ふ科クリニック　広島県広島市

ES3-2　尋常性乾癬における外用療法の進歩と可能性〜外用剤でどこまで治療をできるのか〜
佐藤 俊宏
いいそらヒフ科クリニック　大分県大分市

共催：レオ ファーマ株式会社/協和キリン株式会社

▶D 会場（1F　会議場 B5・6・7）　ハイブリッド開催

9:45〜10:45　教育講演１「ドラッグロスにみる日本の凋落「〜アンメット・メディカル・ニーズに対する医療イノベーションへの期待と課題〜」」

座長：大塚 篤司（近畿大）
森実 真（岡山大）

EL1-1　アンメット・メディカル・ニーズに対する医療イノベーションへの期待
〜ドラッグロスにみる日本の凋落と規制科学の国際調和〜
佐瀬 一洋
順天堂大臨床薬理学

EL1-2　どうする！ワクチン開発：日本のベンチャー企業発に勝機はあるのか？
金指 秀一
新日本科学

10:50〜11:50　教育講演２

座長：金澤 伸雄（兵庫医大）
杉田 和成（佐賀大）

EL2　IgA 抗体による共生微生物制御
新藏 礼子
東京大定量生命科学研究所免疫・感染制御研究分野

12:00〜12:50　ランチョンセミナー４「円形脱毛症の新しい選択肢　リットフーロ」

座長：大山 学（杏林大）

LS4-1　円形脱毛症の疫学と病態及び治療
下村 裕
山口大

LS4-2　円形脱毛症治療の新たな選択肢―リトレシチニブへの期待―
伊藤 泰介
浜松医大

共催：ファイザー株式会社

13:00～14:30　教育講演３「血管肉腫」

座長：藤澤 康弘（愛媛大）
柳 輝希（北海道大）

EL3-1　沖縄の血管肉腫
大平 葵[1,2]
[1]琉球大、[2]国立療養所沖縄愛楽園

EL3-2　「治るがん」になる日は来るのか？
藤澤 康弘
愛媛大

EL3-3　血管肉腫における外科治療の意義
吉野 公二
がん研究会有明病院

15:10～16:00　スイーツセミナー２「IL-17を取り巻く最近の話題」

座長：照井 正（日本大）
山本 俊幸（福島県立医大）

SS2-1　患者報告アウトカムを意識した乾癬治療
藤田 英樹
日本大

SS2-2　バイオ、JAK時代の乾癬診療副作用マネジメント―乾癬と感染―
渡辺 大輔
愛知医大

共催：協和キリン株式会社

17:40～18:30　イブニングセミナー４「遺伝性血管性浮腫（HAE）」

座長：森脇 真一（大阪医科薬科大）
天谷 雅行（慶應義塾大）

ES4-1　遺伝性血管性蕁麻疹浮腫の鑑別・病態と治療薬の進歩
秀 道広
広島市民病院

ES4-2　遺伝性血管性浮腫の新たな治療目標～長期発作予防治療とAE-QOL評価の重要性～
内山 明彦
群馬大

共催：武田薬品工業株式会社

▶E 会場（1F　会議場 B2）　現地開催

9:50～10:50　一般演題 1 「薬疹・紅斑症など」

座長：三宅 智子（岡山大）
苅谷 嘉之（国立療養所宮古南静園）

1　骨髄異形成症候群に対しアザシチジン投与後に発症した Sweet 病の 1 例
広瀬 憲志[1]、岡本 恵暢[2]、柴田 泰伸[2]、工藤 英治[3]
[1]徳島県立中央病院、[2]徳島県立中央病院血液内科、[3]徳島県立中央病院病理部

2　顔面丹毒の経過中に Sweet 病を発症した 1 例
楠見 恭未、田中 文、笹岡 佑輔
堺市立総合医療センター

3　二次性血管炎を伴った Sweet 病と考えた 1 例
岩田 昌史、喜田 真里奈、大日 輝記
香川大

4　慢性下痢症に伴う壊死性遊走性紅斑の 1 例
西村 美紅、大野 文嵩、冬野 洋子、辻 学、中原 真希子、中原 剛士
九州大

5　Thymoma associated multiorgan autoimmunity：TAMA の 1 例
加瀬 美咲[1]、大湖 健太郎[1]、高野 正暉[1]、緒方 正浩[1]、猿田 祐輔[1]、中島 喜美子[1]、
岡田 浩晋[2]、高田 智也[3]、中井 浩三[1]
[1]高知大、[2]高知大呼吸器外科、[3]近森病院

6　特発性好酸球増多症に対してデュピルマブが著効した 3 例
服部 真美、久米 典子、谷崎 英昭
関西医大

7　ペムブロリズマブ+nab-パクリタキセル+カルボプラチン併用療法中に SJS-like reaction を認めた肺癌の 1 例
武藤 雄介、四本 周、金城 賢吾
みやぎ県南中核病院

8　抗生物質投与後ショックを呈した免疫チェックポイント阻害薬投与患者の重篤な薬疹
西澤 綾[1,2]、武田 孝一[3]、浦崎 哲也[4]、小野 麻紀子[4]、友松 純一[4]、望月 俊明[5]、
志賀 太郎[6]、古川 孝広[7]、高橋 俊二[4]、北野 滋久[7]
[1]都立駒込病院、[2]がん研有明病院、[3]がん研有明病院腫瘍リウマチ膠原病科、[4]がん研有明病院総合腫瘍科、[5]がん研有明病院集中治療部、[6]がん研有明病院腫瘍循環器科、[7]がん研有明病院先端医療開発科

10:50～11:50　一般演題２「薬疹・その他」

座長：川上 佳夫(岡山大)
花城 ふく子(沖縄赤十字病院)

9　イルベサルタン・アムロジピンベシル酸塩による線状扁平苔癬型薬疹の１例
横田 菜穂[1]、波部 幸司[1]、小林 鮎子[1]、尾本 陽一[2]、山中 恵一[1]
[1]三重大、[2]おもと皮フ科　三重県桑名市

10　表皮内水疱を認めた非色素沈着型固定薬疹の１例
坂本 慶子[1]、藤広 麻由[2]、山田 知加[3]、本田 哲也[1]
[1]浜松医大、[2]浜松医大病理診断科、[3]やまだ皮膚科　静岡県浜松市

11　免疫チェックポイント阻害薬により皮膚にサルコイドーシス様反応が生じた食道癌の１例
緒方 正浩[1]、大湖 健太郎[1]、北川 博之[2]、山本 真有子[1]、中井 浩三[1]
[1]高知大、[2]高知大外科

12　Enfortumab vedotin 投与後に四肢に水疱性病変を呈した２例
村田 愛美、蓮井 謙一、松田 吉弘、横溝 紗佑里、岡野 真理、三宅 智子、平井 陽至、川上 佳夫、森実 真
岡山大

13　Pembrolizumab 投与中に生じた hypertrophic lichen planus の１例
石川 朋武、丸山 彩乃、益田 浩司、加藤 則人
京都府立医大

14　典型的な皮膚症状を呈したホウ酸中毒の１例
甚目 航太[1]、長野 弘季[2]、平田 陽祐[3]、西尾 栄一[1]
[1]豊川市民病院、[2]藤田医大救急総合内科、[3]豊川市民病院集中治療科

15　ペメトレキセド投与により脂漏性角化症に限局して紅斑を生じた１例
嘉村 真知子[1]、田中 絵理子[2]
[1]嬉野医療センター、[2]佐賀大

16　限局性強皮症との鑑別が困難であった、外陰外の硬化性萎縮性苔癬の１例
池田 有里[1]、鎌田 麻美[1]、加賀 麻弥[1]、深井 達夫[1]、池田 志李[2]
[1]順天堂大練馬病院、[2]順天堂大

12:00～12:50　ランチョンセミナー５「膿疱性乾癬の最新治療 ～IL36 の役割～」

座長：浅野 善英(東北大)
鈴木 民夫(山形大)

LS5-1　膿疱性乾癬治療 up to date
今福 信一
福岡大

LS5-2　膿疱性乾癬のスペビゴによる治療の実際
杉浦 一充
藤田医大

共催：日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社

13:00～14:00　一般演題 7 「皮膚腫瘍 3」

座長：中野 純二（徳山中央病院）
岩田 昌史（香川大）

49　乳房外 Paget 病―TFAP2B の発現は真皮浸潤に関連する予後不良因子である
川口 文[1,2]、秋葉 純[3]、小笠原 幸子[2]、近藤 礼一郎[2]、内藤 嘉紀[4]、草野 弘宣[2,5]、
真田 咲子[2]、武藤 一考[1,6]、名嘉眞 武國[1]、矢野 博久[2]
[1]久留米大、[2]久留米大病理学講座、[3]久留米大病院病理診断科・病理部、[4]久留米大病院臨床検査部、[5]小倉医療センター病理診断科、[6]公立八女総合病院

50　イミキモド外用が奏効した外陰上皮内腫瘍の 1 例
橋本 可奈子、江上 将平、川島 裕平、木村 佳史
済生会中央病院

51　前向きレジストリを用いた進行期乳房外 Paget 病に対するドセタキセル単剤療法の有効性に関する多施設共同研究
川越 翔太[1]、平井 郁子[1]、小林 研太[1]、中村 善雄[1]、石田 雄大[2]、山本 有紀[3]、舩越 建[1]
[1]慶應義塾大、[2]京都大、[3]和歌山県立医大

52　手背の有棘細胞癌と Bowen 病の混在した病変に対して切除とイミキモド外用で完治した 1 例
阿部 倫大、石黒 暁寛、櫻井 琴子、岩下 宣彦、高間 弘道、渡辺 大輔
愛知医大

53　Modified weekly PET 療法により 5 年以上の奏効が得られている進行期乳房外パジェット病の 1 例
舩越 建[1]、平井 郁子[1]、小林 研太[1]、中村 善雄[1]、天谷 雅行[1]、宇野 裕和[2]
[1]慶應義塾大、[2]昭和大藤が丘病院

54　熱傷瘢痕に生じた足底悪性黒色腫の 1 例
吉村 有彩[1]、松崎 友里江[1]、豊島 梨乃[1]、上原 治朗[1]、北野 滋久[2]、後藤 啓介[3]、
河内 洋[3]、吉野 公二[1]
[1]がん研有明病院、[2]同先端医療開発科、[3]同病理部

55　若年女性の体幹部に発症した血管肉腫の 1 例
林 大貴[1]、木村 俊寛[1]、浦田 和美[1]、難波 実那子[1]、松永 仁美[1]、栗山 春香[1]、
梶原 一亨[1]、福島 聡[1]、末吉 貴直[2]
[1]熊本大、[2]熊本大整形外科

56　硬化性脂肪織炎様の皮疹が先行し広範囲の毛細血管拡張を伴った intravascular large B-cell lymphoma の 1 例
林 航[1]、下田 由莉江[1]、佐藤 範英[2]、下山田 博明[3]、大山 学[1]
[1]杏林大、[2]杏林大血液内科、[3]杏林大病理診断科

14:00～15:00　一般演題８「皮膚腫瘍４」

座長：青井 淳（熊本大）
堀川 知久（国立療養所宮古南静園）

57　下肢に皮膚転移を来した多発性骨髄腫の１例
森田 寛之[1]、古賀 浩嗣[1]、白濱 稔大[1]、名嘉眞 武國[1]、山崎 嘉孝[2]、長藤 宏司[2]
[1]久留米大、[2]久留米大血液内科

58　急速な遠隔転移を来した未分化多形肉腫の１例
宮崎 駿、帆足 俊彦、刀祢 勇樹、朴 愛理、佐伯 秀久
日本医大

59　下顎部に後天性に生じた小動脈増生を主体とした血管奇形（vascular malformation, arteriolar type）の１例
伏間江 貴之[1]、小川 夕貴[1]、雪野 祐莉子[1]、白石 淳一[2]、吉田 哲也[1]
[1]国立東京医療センター、[2]同臨床検査科

60　非神経線維腫症１型患者の後頭部に生じた悪性末梢神経鞘腫瘍の１例
黒木 脩矢、持田 耕介、田中 愛実、天野 正宏
宮崎大

61　びまん性大細胞型Ｂ細胞リンパ腫の局所再発と血管免疫芽球性Ｔ細胞リンパ腫が合併したと考えられた１症例
佐藤 崇興[1]、齊藤 華奈実[1]、梅木 真由子[1]、広瀬 晴奈[1]、後藤 瑞生[1]、西田 陽登[2]、駄阿 勉[2]、諸鹿 柚衣[3]、高野 久仁子[3]、緒方 正男[3]、竹尾 直子[4]、高田 寛之[5]、大塚 英一[5]、柴冨 和貴[6]、波多野 豊[1]
[1]大分大、[2]同診断病理科・病理部、[3]同血液内科、[4]大分県立病院、[5]同血液内科、[6]同膠原病・リウマチ科

62　Granulocyte Colony Stimulating Factor（G-CSF）産生悪性黒色腫の１例
中西 真理[1]、刑部 全晃[1]、小林 鮎子[1]、北川 敬之[1]、波部 幸司[1]、林 昭伸[2]、山中 恵一[1]
[1]三重大、[2]三重大病理診断科

63　続発性低ガンマグロブリン血症、骨髄異形成症候群に合併した多発有棘細胞癌の１例
周藤 貴之[1]、中島 瑞穂[1]、中野 瞬[1]、齋藤 晋太郎[1]、山崎 咲保里[1]、安田 正人[1]、齋藤 貴之[2]、茂木 精一郎[1]
[1]群馬大、[2]群馬大血液内科

64　RB1 変異が疑われた多発性ボーエン病の１例
大久保 和貴子、佐藤 絵美、筒井 啓太、三原 崇、今福 信一
福岡大

17:40～18:30　イブニングセミナー５「早期全身療法の治療シークエンスを考える」

座長：大槻 マミ太郎（自治医大）
森田 明理（名古屋市立大）

ES5-1　開業医はもっと積極的に乾癬を治したい
日野 亮介
日野皮フ科医院　福岡県福津市

ES5-2　乾癬治療におけるPDE4阻害の意義
渡邉 玲
大阪大

共催：アムジェン株式会社

▶F 会場（1F　会議場B3・4）　現地開催

9:50～10:50　一般演題３「皮膚感染症１」

座長：大谷 稔男（倉敷中央病院）
上原 絵里子（沖縄赤十字病院）

17　陰嚢がんと鑑別を要した扁平コンジローマ
竹内 聡[1]、石倉 侑[1]、米田 玲子[2]、隅田 幸佑[3]、中原 剛士[4]
[1]浜の町病院、[2]浜の町病院病理診断科、[3]浜の町病院感染症内科、[4]九州大

18　IgA血管炎を併発した梅毒の１例
山村 愛[1]、草場 雄道[1]、中原 智史[1]、牧野 公治[1]、梶原 健吾[2]
[1]熊本医療センター、[2]熊本医療センター腎臓内科

19　Stevens-Johnson症候群と鑑別を要したサイトメガロウイルス単核球症の１例
大西 美弥、関山 紘子、藤井 理美、唐川 大、高橋 一夫
公立昭和病院

20　手背腫脹を生じた結核性骨髄炎の１例
黒尾 優太[1]、吉田 諭[1]、石橋 伸輔[2]、平山 龍太郎[3]、村上 正基[1]、藤澤 康弘[1]
[1]愛媛大、[2]愛媛大整形外科、[3]愛媛大呼吸器内科

21　RNA *in situ* hybridizationを用いた掌蹠表皮様嚢腫におけるHPV60型感染の検討
落合 咲和子、山口 礼門、石倉 祐貴、安澤 数史、清水 晶
金沢医大

22　前額部の難治性潰瘍を契機に診断された硬膜外膿瘍の１例
竹島 良輔、野々垣 彰、北原 佑里恵、榊原 萌、小原 明希、福井 敦、玉木 毅
国立国際医療研究センター

23　Mycobacterium wolinskyiによる術後創部感染症の１例
岡崎 優香、小川 浩平、宮川 史、新熊 悟、浅田 秀夫
奈良県立医大

24　*Mycobacterium mageritense*による術後腹壁膿瘍の１例
秋下 小百合[1]、兵頭 麻里[1]、作田 隆義[1]、新川 宏樹[1]、木花 いづみ[1]、中山 里佳子[2]、佐々木 朋美[2]、栗原 佑一[1]
[1]平塚市民病院、[2]平塚市民病院臨床検査科

10:50～11:50　一般演題４「皮膚感染症２」

座長：仁木 真理子（徳島大）
白石 研（愛媛大）

25　帯状疱疹に続発下水痘・帯状疱疹ウイルス（VZV）髄膜炎の１例
金城 賢吾、武藤 雄介
みやぎ県南中核病院

26　抗 IL-6 受容体抗体製剤、MTX 投与中に発症した水痘肺炎の１例
高須賀 琴巳[1]、馬屋原 孝恒[1]、徳永 萌[2]、小山 芳伸[2]、狩野 裕久[3]
[1]岡山赤十字病院、[2]岡山赤十字病院膠原病・リウマチ内科、[3]岡山赤十字病院呼吸器内科

27　直近 19 年間に当科で診療した頭部慢性膿皮症 25 例のまとめ
人見 勝博、福田 知雄
埼玉医大総合医療センター

28　外陰部カンジダ症に対するミコナゾール硝酸塩含有石鹸の有効性に関する検討
高橋 秀典[1,2]、尾山 徳孝[2]、長谷川 稔[2]
[1]JCHO福井勝山総合病院、[2]福井大

29　水痘未罹患の健常小児にみられた汎発性帯状疱疹に髄膜炎が合併した１例
長野 有花子[1]、水野 みどり[1]、萩原 莉花[2]、山口 祐[3]、一見 良司[3]
[1]伊勢赤十字病院、[2]伊勢赤十字病院脳神経内科、[3]伊勢赤十字病院小児科

30　結核性頸部リンパ節炎に伴う 30 代男性の Bazin 硬結性紅斑の１例
小原 千明、宮村 智裕、宮下 加奈子、松尾 敦子
くまもと森都総合病院

31　初診時感染性粉瘤と思われた外歯瘻の１例
木村 優香[1]、藤田 壮[1]、長塚 由美[1]、坂本 理佳[1]、坂本 幸子[1]、片岡 葉子[1]、有川 翔[2]
[1]大阪はびきの医療センター、[2]青山病院歯科口腔外科

32　当院における Panton-Valentine leucocidin（PVL）産生市中感染型 MRSA（CA-MRSA）の検討
青木 彩加[1,2]、畑宮 由子[1,2]、山本 ちひろ[1,2]、深松 紘子[1,2]、杉山 聖子[2]、山本 剛伸[1,2]、青山 裕美[2]
[1]川崎医大総合医療センター、[2]川崎医大

12:00～12:50　ランチョンセミナー６

座長：秀 道広（広島市立広島市民病院）

LS6　限局性局所多汗症の診断と治療～そして手掌多汗症の新たな治療～
青山 裕美
川崎医大

共催：久光製薬株式会社

13:00～14:00　一般演題 9 「水疱症・膿疱症」

座長：石井 文人(久留米大)
工藤 真未(沖縄県立南部医療センター・こども医療センター)

65　抗ラミニン 332 抗体を有した GVHD 関連水疱性類天疱瘡の 1 例
飛田 泰斗史[1]、岩脇 文香[1]、中野 里穂[1,2]、別宮 浩文[3]、石井 文人[4]
[1]徳島赤十字病院、[2]徳島大、[3]徳島赤十字病院血液内科、[4]久留米大

66　放射線照射により誘発され、寛解から長期間経過後に水疱再燃とともに抗 BP230 抗体陽性を示した水疱性類天疱瘡の 1 例
古川 和仁[1]、六戸 大樹[1]、木村 温子[1]、松崎 康司[1]、中野 創[1]、寺田 明莉[2]、村井 孝弥[2]
[1]弘前大、[2]八戸市立市民病院

67　COVID-19 ワクチン接種後に発症した Granular C3 Dermatosis
中元 健太、牟禮 海、中原 由紀子、杉山 聖子、青山 裕美
川崎医大

68　ネモリズマブ投与後に発症した水疱性類天疱瘡の 1 例
益雪 凌介、佐藤 絵美、今福 信一
福岡大

69　回腸潰瘍を合併した右 L1-2 領域帯状疱疹の 1 例
佐々木 亘[1]、松尾 佳美[1]、樗木 錬[2]、美濃 達治[2]、一戸 辰夫[2]、中村 岳夫[3]、壷井 章克[3]、田中 暁生[1]
[1]広島大、[2]広島大血液内科、[3]広島大消化器内科

70　高度気道狭窄をきたし緊急気管挿管を要した粘膜類天疱瘡の 1 例
浦上 貴弘[1]、植木 瑶子[1]、阪上 智史[2]、谷崎 英昭[1]
[1]関西医大、[2]関西医大耳鼻咽喉科頭頸部外科学

71　既存治療及びリツキシマブで救命しえなかった超重症水疱性類天疱瘡の 1 例
福島 有貴、小川 陽一、田渕 亜希子、浅川 理子、前島 えり、浅川 まりか、薬袋 里彩、川村 龍吉、島田 眞路
山梨大

72　類天疱瘡の加療中にみられた膿疱性乾癬の 1 例
関根 真奈[1]、高橋 隼也[1]、山本 宗太郎[2]、青井 淳[2]、古賀 浩嗣[3]、石井 文人[3]、武市 拓也[4]、山本 惇[1]、山本 悠[1]、藤村 卓[1]、福島 聡[2]、浅野 善英[1]
[1]東北大、[2]熊本大、[3]久留米大、[4]名古屋大

14:00～15:00　一般演題 10 「基礎研究ほか」

座長：村尾 和俊(徳島大)
内海 大介(琉球大)

73　ソラフェニブによる手足症候群に対する抗真菌薬の治療効果とその機序の検討
加藤 塁[1]、鎌田 弥生[1]、冨永 光俊[1]、岸 龍馬[1,2]、金子 高英[1,2]、辻村 晃[3]、須賀 康[2]、高森 建二[1,2]
[1]順天堂大環境医学研究所・順天堂かゆみ研究センター、[2]順天堂大附属浦安病院、[3]順天堂大附属浦安病院泌尿器科

74　機械的アロネーシスの発生メカニズムの解明と治療法の開発
冨永 光俊、本田 耕太郎、楠部 史也、飛田 知央、古宮 栄利子、横田 将史、黒澤 大、高橋 伸明、外山 扇雅、趙 巧鳳、左 穎、鎌田 弥生、高森 建二
順天堂大環境研/順天堂かゆみ研究センター

75　ドライスキン誘発性アロネーシスに対する経口 JAK 阻害剤による調節機序の解明
豊澤 優衣[1,2]、古宮 栄利子[1]、金子 高英[2]、須賀 康[2]、冨永 光俊[1]、高森 建二[1,2]
[1]順天堂大医科学研究科環境医学研究所順天堂かゆみセンター、[2]順天堂大浦安病院

76　当院におけるストーマ周囲壊疽性膿皮症の臨床的検討
菅原 基史[1]、本間 大[1]、上野 直美[2]、本間 美穂[2]、日野岡 蘭子[2]、谷 誓良[3]、山本 明美[1]
[1]旭川医大、[2]旭川医大看護部、[3]旭川医大消化管外科

77　外科的侵襲後の創部に壊疽性膿皮症を発症した２例
川部 僚子[1]、川喜田 遥香[1]、東 典子[1]、近藤 由佳理[1]、橋本 拓人[2]、森山 康弘[3]
[1]市立池田病院、[2]市立池田病院整形外科、[3]市立池田病院血液内科

79　抗 PD-1 抗体で加療中に脂肪織炎を生じた悪性黒色腫の１例
藤井 皓、伊與部 怜奈、澤田 香織、大石 京介、前田 進太郎、濱口 儒人、松下 貴史
金沢大

80　骨髄異形成関連変化を伴う急性骨髄性白血病に合併し壊死性筋膜炎との鑑別を要した水疱型壊疽性膿皮症の１例
西垣 綾子[1]、河野 奈央[2]、岩田 吉生[3]、前川 恭慶[4]、白鳥 隆宏[1]
[1]市立岸和田市民病院、[2]近畿大、[3]市立岸和田市民病院血液内科、[4]市立岸和田市民病院形成外科

17:40～18:30　イブニングセミナー６（ハイブリッド開催）「実臨床で見えてきたホスラブコナゾールの実力～リアルワールドエビデンスを踏まえた最新治療～」

座長：石川 治（群馬大名誉教授/石井病院）

ES6-1　完全治癒を目指す爪白癬治療～外用剤からの切り替えタイミングについての考察～
竹中 基
長崎大

ES6-2　その外用治療、漫然と続けていませんか？～爪白癬治療をめぐるクリニカルイナーシャ～
宮地 良樹[1,2]
[1]京都大名誉教授、[2]静岡社会健康医学大学院大学長

共催：佐藤製薬株式会社

▶G 会場（1F　会議場 A2）　現地開催

9:50～10:50　一般演題５「皮膚腫瘍 1」

座長：岡田 悦子（産業医大）
野中 公子（琉球大）

33　基底細胞癌と有棘細胞癌に肉腫様変化を合併した皮膚原発 Carcinosarcoma（癌肉腫）の１例
岡本 修[1]、高崎 修旨[2]、秋篠 宏介[3]、宗元 碩哲[3]、蒲池 綾子[4]、橋本 裕之[3]
[1]大分市医師会立アルメイダ病院、[2]高崎皮膚科医院　大分県中津市、[3]大分市医師会立アルメイダ病院形成外科、
[4]大分市医師会立アルメイダ病院病理部

34　皮下脂肪組織まで腫瘍胞巣がみられ Microcystic adnexal carcinoma と汗管腫との鑑別に苦慮した１例
髙﨑 侑子[1,2]、岩澤 億斗[1]、尾松 淳[1]、安永 瑛一[1]、田中 麻理子[1]、永井 幸司郎[1]、
三宅 知美[1]、宮川 卓也[1]、佐藤 伸一[1]
[1]東京大、[2]東京大病理部

35　視野障害を生じた Diffuse large B-cell lymphoma の１例
中牟田 瑠璃[1]、市来 澪[1]、竹中 基[1]、室田 浩之[1]、一ノ宮 愛[2]、加藤 丈晴[3]、一瀬 将広[3]、
蓬莱 真喜子[3]、宮崎 泰司[3]、添田 李子[4]、上木 望[4]
[1]長崎大、[2]長崎掖済会病院、[3]長崎大血液内科、[4]長崎大病理診断科

36　棘融解を示した表皮内腫瘍の３例
山筋 好子[1]、吉崎 愛[1]、大久保 葵[1]、松岡 温子[1]、川平 尚生[1]、馬場 直子[1]、指宿 敦子[1]、
東 裕子[1]、多田 浩一[2]、金蔵 拓郎[1]
[1]鹿児島大、[2]すなお皮ふ科　鹿児島県鹿児島市

37　BRAF 遺伝子検査（LSI）で「判定不能」と評価された BRAF 遺伝子変異陽性の原発不明悪性黒色腫の１例
陣内 駿一[1]、山崎 直也[2]、高橋 聡[1]
[1]国立がん研究センター東病院、[2]国立がん研究センター中央病院

38　左大腿部粘液型脂肪肉腫の１例
朴 愛理[1,2]、帆足 俊彦[2]、市山 進[2]、佐伯 秀久[2]
[1]日本医大多摩永山病院、[2]日本医大

39　北海道大学皮膚科で経験したエクリン汗孔癌 11 例におけるダーモスコピー所見の検討
宮本 航大、柳 輝希、前田 拓哉、氏家 英之
北海道大

40　Helicobacter pylori 除菌療法後に急速に進行した成人 T 細胞白血病リンパ腫の１例
松立 吉弘[1]、佐伯 恭昌[2]
[1]愛媛県立中央病院、[2]愛媛県立中央病院血液内科

10:50～11:50　一般演題６「皮膚腫瘍２」

座長：馬場 直子（鹿児島大）
山田 七子（鳥取大）

41　術後再発をきたした孤在線維性腫瘍の１例
刀祢 勇樹、帆足 俊彦、伊藤 路子、亦野 蓉子、佐伯 秀久
日本医大

42　腹腔鏡下卵巣嚢腫摘出後数年の経過で臍創部に生じた皮下嚢腫３例の検討
長竹 茉奈[1]、新川 紗由香[1]、松本 薫郎[1]、田原 海[1]、小林 研太[1,3]、片山 陸[2,4]、西本 周平[1]
[1]川崎市立川崎病院、[2]川崎市立川崎病院形成外科、[3]慶應義塾大、[4]東京歯科大市川総合病院形成外科

43　頭部血管肉腫の親子例
加倉井 真主、伊藤 周作、前田 朱美、小川 大貴、本田 理恵
日立総合病院

44　頭頂部メルケル細胞癌に扁平上皮癌が合併した症例に対してアベルマブが著効した１例
田中 沙季、石黒 暁寛、岩下 宣彦、渡辺 大輔
愛知医大

45　デュピルマブ投与後に紅皮症化、白血化し、モガムリズマブが奏功したCCR4陽性CD８陽性菌状息肉症
藤井 一恭[1]、吉崎 愛[1]、馬場 直子[1]、大島 孝一[2]、金蔵 拓郎[1]
[1]鹿児島大、[2]久留米大病理学

46　ニボルマブ・イピリムマブ併用療法により免疫関連有害事象を生じ、ステロイド治療中に精神症状をきたした悪性黒色腫の１例
池田 彩乃、吉田 雄一
鳥取大

47　ボーエン病に合併したメルケル細胞癌の１例
松本 真理、澤井 希望、別木 祐介、立花 宏太、神野 泰輔、森実 真
岡山大

48　前腕に生じたspindle cell lipomaの１例
伊藤 拓[1]、石河 軌久[1]、小松田 恵理子[1]、能登 舞[2]、石河 知之[3]、安齋 眞一[4]、河野 通浩[2]
[1]大曲厚生医療センター、[2]秋田大、[3]石河ひふ科医院　秋田県大仙市、[4]PCL Japan

12:00～12:50　ランチョンセミナー７（ハイブリッド開催）

座長：高橋 健造（琉球大）

LS7　アトピー性皮膚炎の発症機序のアップデートとそれに基づく新たな治療の考え方
椛島 健治
京都大

共催：マルホ株式会社

13:30〜15:30　日本皮膚科学会「キャリア支援委員会」企画：メンター＆メンティーの相談会（M&M）「こうすればもっと皮膚科を楽しめる！〜振り返って得られた tips〜」

ミニレクチャー（60 分）

皮膚科臨床はおもしろい〜26 年継続できたことのふりかえり〜
上原 絵里子（沖縄赤十字病院）

振り返ってみました...ughhh!
東 裕子（鹿児島大）

メンター＆メンティー相談会（60 分）

17:40〜18:30　イブニングセミナー 7（ハイブリッド開催）

座長：名嘉眞 武國（久留米大）

ES7　新診療ガイドラインを踏まえた原発性腋窩多汗症の治療戦略
下村 裕
山口大

共催：科研製薬株式会社